



# 平成30年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 白銅株式会社  
コード番号 7637 URL <http://www.hakudo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

定時株主総会開催予定日 平成30年6月28日 配当支払開始予定日 平成30年6月29日

有価証券報告書提出予定日 平成30年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	43,709	26.2	2,784	40.3	2,845	39.3	2,028	44.3
29年3月期	34,626	6.7	1,985	16.3	2,042	16.7	1,405	17.6

(注) 包括利益 30年3月期 2,124百万円 (62.7%) 29年3月期 1,305百万円 (27.4%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	178.81		13.1	9.1	6.4
29年3月期	123.91		9.8	7.6	5.7

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 百万円 29年3月期 百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	34,191	16,261	47.6	1,433.70
29年3月期	28,604	14,800	51.7	1,304.93

(参考) 自己資本 30年3月期 16,261百万円 29年3月期 14,800百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	3,103	1,379	663	5,902
29年3月期	2,413	1,301	510	4,820

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期		0.00		58.50	58.50	663	47.2	4.6
30年3月期		0.00		75.00	75.00	850	41.9	5.5
31年3月期(予想)		0.00		77.00	77.00		42.2	

(注) 平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 記念配当 8円50銭

## 3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	10.3	1,480	13.8	1,510	12.5	1,020	9.7	89.93
通期	46,000	5.2	2,990	7.4	3,050	7.2	2,070	2.1	182.51

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期	11,343,300 株	29年3月期	11,343,300 株
期末自己株式数	30年3月期	1,292 株	29年3月期	1,181 株
期中平均株式数	30年3月期	11,342,027 株	29年3月期	11,342,212 株

(参考)個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	42,587	26.6	2,724	39.9	2,775	38.2	1,967	43.4
29年3月期	33,638	6.5	1,947	19.9	2,007	20.1	1,372	22.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	173.48	
29年3月期	121.01	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
30年3月期	33,788		16,048		47.5	1,415.00		
29年3月期	28,290		14,712		52.0	1,297.15		

(参考) 自己資本 30年3月期 16,048百万円 29年3月期 14,712百万円

2. 平成31年 3月期の個別業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	21,900	10.3	1,460	12.7	980	10.3	86.40	
通期	44,800	5.2	2,950	6.3	1,990	1.1	175.45	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. その他 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 当期の経営成績

## (a) 売上高

売上高は、前連結会計年度比26.2%増加し、437億9百万円となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国を始め比較的好調であった海外景気や国内の好調な雇用・所得環境による堅調な個人消費を背景に企業の景況感は幅広い業種で改善し、設備投資にも底堅さが見られ順調な環境でした。

当社業績に影響が大きい半導体製造装置業界は、AIやIoTに関連する需要の拡大により好調に推移しました。液晶製造装置業界も、4K映像やスマートフォンの受注の広がりにより好調に推移しており、新技術である有機ELにおいてもその需要が拡大し、液晶製造装置業界同様に有機EL関連の製造装置の需要も伸長しています。

このような状況のなか当社グループは、国内事業の「ダントツの品質・ダントツのスピード・ダントツのサービス・納得の価格」による同業他社との差別化、海外事業の拡大、新規事業の構築を柱に企業価値および顧客満足の更なる向上を目指してきました。

更に国内の同業他社との差別化を図るために、平成29年11月に国内5番目の工場となる埼玉工場開設による生産能力の増強、自動化の推進、高精度材料をラインナップした「ハイスペックシリーズ」、欧州の厳しい環境規制に適合した「エコシリーズ」、航空・宇宙規格に適合した「航空宇宙規格材料シリーズ」など需要拡大が見込める特徴ある材料を中心に品揃えを増やし、標準在庫点数を前年同期初の4,300品目サイズから5,000品目サイズへ拡充しました。

また、24時間365日お見積り・ご注文が可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」にスマートフォンでもご利用になれる機能や他社在庫品をお取り寄せできる機能を追加し、利便性を向上させました。

海外事業の拡大については、平成29年2月にベトナム国ホーチミン市に駐在員事務所を開設し、東南アジア地域の市場調査および情報収集を強化しました。また、上海白銅精密材料有限公司においても「白銅ネットサービス」の中国版である「上海白銅ネットサービス」の利用度の向上に取り組みました。

新規事業の構築では、平成29年4月に2台目の3Dプリンターを導入し、アルミ造形サービスを開始し金属製品の受託製造の範囲の拡大を行うなど、製造体制や技術対応力を強化しました。

これらの結果、標準在庫品・特注品ともに販売重量は増加し、売上高が前連結会計年度比で増加となりました。

## (b) 営業利益

営業利益は、前連結会計年度比40.3%増加し、27億8千4百万円となりました。

営業利益の増加要因は主に販売好調による売上高の伸長および原材料市況の好転によるもので、当連結会計年度の商品在庫に係わる相場差益は3億9千3百万円（前連結会計年度は1億6千万円の相場差損）となりました。

人件費および運賃の増加、製造キャパシティのアップや新規事業の拡大にともなう設備投資により、減価償却費等の経費は増加しましたが、売上高が伸長したことにより原材料市況の影響額を除いた営業利益でも、前連結会計年度比で11.4%増加となりました。

## (c) 経常利益

経常利益は、営業利益の増加により前連結会計年度比39.3%増加し、28億4千5百万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、20億2千8百万円（前連結会計年度比44.3%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりとなります。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

セグメント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
日本	41,983百万円	2,734百万円	2,789百万円	1,983百万円
中国	1,349百万円	40百万円	43百万円	32百万円
その他	376百万円	9百万円	12百万円	12百万円

## ② 当社を取り巻く環境

原材料市況は、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）がトン当たり前連結会計年度末の27万1千円から当連結会計年度末は27万5千円に、電気銅建値は前連結会計年度末の69万円から当連結会計年度末は74万円に、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）は前連結会計年度末の33万円から当連結会計年度末は36万円にいずれも上昇しました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の資産合計は、341億9千1百万円と、対前連結会計年度末比で19.5%、55億8千6百万円増加しました。

流動資産は、267億4千万円と、対前連結会計年度末比で22.9%、49億8千2百万円増加しました。増加額は、現金及び預金10億8千1百万円、受取手形及び売掛金27億8千5百万円、電子記録債権5億5千2百万円、商品及び製品4億7千6百万円他、合計49億8千2百万円です。

固定資産は、74億5千1百万円と、対前連結会計年度末比で8.8%、6億4百万円増加しました。増加額は、有形固定資産5億9百万円、無形固定資産4千1百万円、投資その他の資産5千3百万円、合計6億4百万円です。

## (負債)

流動負債は、178億9千9百万円と、対前連結会計年度末比で30.0%、41億2千7百万円増加しました。増加額は、支払手形及び買掛金9億9千4百万円、電子記録債務27億5千4百万円、未払費用1億1千7百万円、未払法人税等5千5百万円、賞与引当金6千万円他、合計41億2千7百万円です。

固定負債は、3千万円で大きな増減はありませんでした。

## (純資産)

純資産は、162億6千1百万円と、対前連結会計年度末比で9.9%、14億6千万円増加しました。増加額は、利益剰余金13億6千4百万円、その他有価証券評価差額金3千2百万円、子会社への出資金と子会社の累積損失を円換算した時の差異の為替換算調整勘定6千3百万円他です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の51.7%から47.6%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ、10億8千1百万円増加し、59億2百万円となりました。

その内訳は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローによって資金は、31億3百万円増加しました。

これは、税金等調整前当期純利益28億4千5百万円、減価償却費7億6千8百万円、売上債権の増加33億1千9百万円、仕入債務の増加37億3千6百万円、たな卸資産の増加4億6千9百万円、法人税等を7億9千3百万円支出したこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローによって資金は、13億7千9百万円減少しました。

これは、有形固定資産の取得により12億8千3百万円を支出、無形固定資産の取得により7千8百万円を支出したこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローによって資金は、6億6千3百万円減少しました。

これは、配当金を6億6千3百万円支出したことによります。

## 当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
自己資本比率 (%)	60.0	53.7	55.6	51.7	47.6
時価ベースの 自己資本比率 (%)	51.9	61.5	47.8	68.6	73.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としておりますが、利子を支払っている負債がないので平成26年3月期以降の記載が「—」になっております。

※キャッシュ・フローおよび利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を用いております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、企業の景況感は幅広い業種で持続し引続き良好な環境が予想されるものの、まだまだ先行き不透明な北朝鮮問題、日米の貿易問題等、日本経済に影響を与える不安要素もあり安心できません。

以上の点も織り込み、翌連結会計年度の業績見通しは、売上高は460億円（当連結会計年度比5.2%増）、営業利益は29億9千万円（当連結会計年度比7.4%増）、経常利益は30億5千万円（当連結会計年度比7.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は20億7千万円（当連結会計年度比2.1%増）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当社（白銅株式会社）と連結子会社の上海白銅精密材料有限公司および連結子会社のHakudo (Thailand) Co., Ltd.によって構成されておりますが、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後のI F R S適用については、国内の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,820,275	5,902,036
受取手形及び売掛金	11,259,171	14,044,937
電子記録債権	397,808	950,229
商品及び製品	4,935,778	5,411,888
原材料及び貯蔵品	16,969	37,923
繰延税金資産	244,636	278,475
その他	99,264	130,071
貸倒引当金	△15,678	△15,320
流動資産合計	21,758,225	26,740,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,734,569	7,389,100
減価償却累計額	△5,314,950	△5,471,314
建物及び構築物（純額）	1,419,619	1,917,785
機械装置及び運搬具	5,409,765	5,885,708
減価償却累計額	△2,904,931	△3,368,045
機械装置及び運搬具（純額）	2,504,834	2,517,662
土地	1,899,876	1,899,876
その他	500,364	535,106
減価償却累計額	△347,549	△383,627
その他（純額）	152,815	151,479
有形固定資産合計	5,977,144	6,486,803
無形固定資産		
投資その他の資産	219,306	260,988
投資有価証券	383,646	438,138
繰延税金資産	26,276	21,715
退職給付に係る資産	68,924	65,118
その他	170,858	178,297
投資その他の資産合計	649,705	703,269
固定資産合計	6,846,156	7,451,062
資産合計	28,604,381	34,191,304



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,112,772	10,107,771
電子記録債務	2,907,350	5,661,743
未払費用	650,573	768,570
未払法人税等	485,665	540,763
賞与引当金	312,136	373,100
役員賞与引当金	73,000	98,000
その他	230,829	349,949
流動負債合計	13,772,328	17,899,898
固定負債		
長期預り保証金	15,150	14,150
その他	16,206	16,222
固定負債合計	31,356	30,372
負債合計	13,803,684	17,930,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	12,999,925	14,364,487
自己株式	△1,271	△1,460
株主資本合計	14,620,051	15,984,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,342	129,019
為替換算調整勘定	84,302	147,589
その他の包括利益累計額合計	180,644	276,608
非支配株主持分	0	0
純資産合計	14,800,697	16,261,033
負債純資産合計	28,604,381	34,191,304

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	34,626,843	43,709,473
売上原価	28,612,519	36,182,778
売上総利益	6,014,323	7,526,695
販売費及び一般管理費	4,028,713	4,741,858
営業利益	1,985,610	2,784,837
営業外収益		
受取利息	7,290	7,010
受取配当金	9,565	6,383
不動産賃貸料	72,345	70,811
その他	6,654	10,671
営業外収益合計	95,855	94,876
営業外費用		
不動産賃貸費用	14,045	13,289
支払手数料	591	499
為替差損	13,243	7,785
固定資産処分損	6,635	2,517
訴訟関連費用	—	6,249
その他	4,394	3,644
営業外費用合計	38,910	33,985
経常利益	2,042,555	2,845,728
税金等調整前当期純利益	2,042,555	2,845,728
法人税、住民税及び事業税	713,714	861,382
法人税等調整額	△76,528	△43,729
法人税等合計	637,185	817,653
当期純利益	1,405,369	2,028,075
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,405,369	2,028,075

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	1,405,369	2,028,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,354	32,677
為替換算調整勘定	△85,802	63,286
その他の包括利益合計	△100,157	95,963
包括利益	1,305,212	2,124,039
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,305,212	2,124,039
非支配株主に係る包括利益	△0	0

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	12,104,958	△1,072	13,725,282
当期変動額					
剰余金の配当			△510,401		△510,401
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,405,369		1,405,369
自己株式の取得				△198	△198
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	894,967	△198	894,769
当期末残高	1,000,000	621,397	12,999,925	△1,271	14,620,051

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	110,696	170,105	280,801	0	14,006,085
当期変動額					
剰余金の配当					△510,401
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,405,369
自己株式の取得					△198
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△14,354	△85,802	△100,157	0	△100,157
当期変動額合計	△14,354	△85,802	△100,157	0	794,612
当期末残高	96,342	84,302	180,644	0	14,800,697

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	12,999,925	△1,271	14,620,051
当期変動額					
剰余金の配当			△663,513		△663,513
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,028,075		2,028,075
自己株式の取得				△188	△188
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,364,561	△188	1,364,372
当期末残高	1,000,000	621,397	14,364,487	△1,460	15,984,424

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	96,342	84,302	180,644	0	14,800,697
当期変動額					
剰余金の配当					△663,513
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,028,075
自己株式の取得					△188
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	32,677	63,286	95,963	0	95,964
当期変動額合計	32,677	63,286	95,963	0	1,460,336
当期末残高	129,019	147,589	276,608	0	16,261,033

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,042,555	2,845,728
減価償却費	656,787	768,464
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,208	△984
賞与引当金の増減額 (△は減少)	73,399	60,675
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	23,000	25,000
受取利息及び受取配当金	△16,855	△13,393
有形固定資産売却損益 (△は益)	6,635	2,517
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,540,760	△3,319,841
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△530,611	△469,754
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,101,697	3,736,146
その他	△3,389	248,623
小計	2,813,667	3,883,180
利息及び配当金の受取額	16,855	13,393
法人税等の支払額	△416,611	△793,506
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,413,911	3,103,067
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,138,374	△1,283,021
有形固定資産の売却による収入	3,372	2,939
無形固定資産の取得による支出	△60,239	△78,995
投資有価証券の取得による支出	△5,688	△7,393
その他の支出	△103,412	△16,309
その他の収入	3,010	3,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,301,333	△1,379,486
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△198	△188
配当金の支払額	△510,413	△663,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△510,611	△663,670
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37,307	21,849
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	564,658	1,081,761
現金及び現金同等物の期首残高	4,255,616	4,820,275
現金及び現金同等物の期末残高	※ 4,820,275	※ 5,902,036

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
現金及び預金勘定	4,820,275千円	5,902,036千円
現金及び現金同等物	4,820,275	5,902,036

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、金属事業の単一事業であり、国内においては当社が、中国においては上海白銅精密材料有限公司が担当しております。両会社はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則および手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、親会社株主に帰属する当期純利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。



3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,226,980	1,129,851	34,356,831	270,011	34,626,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	411,985	—	411,985	—	411,985
計	33,638,965	1,129,851	34,768,817	270,011	35,038,829
セグメント利益又は損失（△）	1,372,551	45,925	1,418,476	△4,150	1,414,326
セグメント資産	28,290,845	1,412,251	29,703,096	220,580	29,923,677
セグメント負債	13,578,457	265,541	13,843,998	52,200	13,896,199
その他の項目					
減価償却費	619,347	36,689	656,036	750	656,787
税金費用 （法人税等及び法人税等調整額）	635,324	2,692	638,017	—	638,017
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	1,307,817	32,180	1,339,997	2,010	1,342,008

(注) 「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

## 当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,983,352	1,349,205	43,332,558	376,915	43,709,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	604,058	—	604,058	—	604,058
計	42,587,411	1,349,205	43,936,617	376,915	44,313,532
セグメント利益又は損失（△）	1,967,589	32,440	2,000,029	12,575	2,012,604
セグメント資産	33,788,214	1,454,367	35,242,581	300,819	35,543,400
セグメント負債	17,739,263	222,396	17,961,660	109,397	18,071,057
その他の項目					
減価償却費	742,677	24,853	767,531	932	768,464
税金費用 （法人税等及び法人税等調整額）	808,182	11,429	819,611	—	819,611
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	1,293,497	17,830	1,311,328	388	1,311,716

(注) 「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	34,768,817	43,936,617
その他	270,011	376,915
セグメント間取引消去	△411,985	△604,058
連結損益計算書の売上高	34,626,843	43,709,473

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,418,476	2,000,029
その他	△4,150	12,575
セグメント間取引消去	△8,956	15,470
連結損益計算書の親会社株主に帰属する 当期純利益	1,405,369	2,028,075

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	29,703,096	35,242,581
その他	220,580	300,819
セグメント間取引消去	△1,319,295	△1,352,096
連結貸借対照表の資産合計	28,604,381	34,191,304

(単位：千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13,843,998	17,961,660
その他	52,200	109,397
セグメント間取引消去	△92,514	△140,786
連結貸借対照表の負債合計	13,803,684	17,930,271

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
税金費用	638,017	819,611	—	—	△831	△1,958	637,185	817,653

【関連情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	1,304.93円	1,433.70円
1株当たり当期純利益	123.91円	178.81円

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,405,369	2,028,075
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,405,369	2,028,075
期中平均株式数(株)	11,342,212	11,342,027

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

##### ①代表者の変動

該当事項はありません。

##### ②その他役員の変動

- ・新任取締役（監査等委員であるものを除く）候補者  
石本 雅敏（現 株式会社デサント代表取締役社長）  
（注）石本 雅敏氏は、社外取締役の候補者であります。

##### ③就任予定日

平成30年6月28日